

市民だからこそ提案できた 複合化のアイディアは？ ～ワークショップを体験して～



保健福祉施設の複合化・多機能化

ワークショップ参加市民代表 高垣 充晴

複合化を検討する各施設の概要



保健センター

- 目的：市民の健康に関する保健サービスの拠点施設
事業：母子保健事業、成人保健事業、健康づくり促進事業
予防接種等
建築：昭和57年築、RC造平屋建て



総合福祉センター（指定管理者：社会福祉協議会）

- 目的：高齢者及び障がい者の自立的生活の援助、心身機能の向上を図る
事業：高齢者の健康増進事業
高齢者及び障がいデイサービス事業等
建築：平成元年築、RC造平屋建て



地域福祉会館

- 目的：社会福祉協議会の事務所として利用
事業：事務所機能、相談活動、ボランティアセンター等
建築：昭和56年築、RC造2階建て

各施設の建物の主な問題点は？（担当課から）



- 築32年で老朽化が進んでいる
- 段差のある入口やトイレ
- 土地が借地
- プライベートスペースが少ない



- 築25年で老朽化が進んでいる
- 段差のある入口
- 施設内の至るところで地盤沈下
- 壁紙に



- 築33年で老朽化が進んでいる
- 一部は新耐震基準に不適合



どの施設も同じような問題を持ち、近い将来、更新時期を迎える（建て替えが必要な）施設なのでは・・・。

新保健福祉施設はこんな施設！

ヒトとヒトが繋がり、心のオアシスになる新保健福祉施設

新保健福祉施設 龍ヶ崎市健康プラザ「てって」

大人の
健康ゾーン
第二の学校

交流ゾーン
ふくわうち

カフェ・図書室・
イベントスペース
等

こどもゾーン
ふくぷく

障がい者
ゾーン
かがやき

通常時

健康で交流できる拠点

災害時

ボランティア活動の拠点

【設置場所】

市役所or龍ヶ岡公園周辺

